

2017年12月28日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No.B-49)
「実践女子大生における制汗剤の使用実態」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「実践女子大生における制汗剤の使用実態」について、写真観察法を用いて実践女子大学生の実態を調査し、写真からわかる女子大生の制汗剤利用について考察を行いました。

観察調査結果のポイント

(1) スプレータイプが多い

複数持ちのタイプの人を含めると、スプレータイプを使用している人数は20人（全54人中）で約37%の人が制汗剤にスプレータイプを使用していた。中でも、「8×4」を使用している人が多く、家で使う用の大きなスプレータイプから、持ち運びが可能な小さいサイズまで、さまざまであった。

(2) 格安なプライベートブランドより大手メーカーの方が多い

どのタイプの制汗剤も多くの人が大手メーカーの商品を使用していた。その中で、プライベートブランドの商品を使用している人がシートタイプで見られた。格安なプライベートブランドよりも高めである大手メーカーを使用していることから、制汗剤には価格よりも質で選んでいるということが考えられる。

(3) 無香料よりも香りつきのほうが多い

制汗剤を使用している多くの人が無香料よりも香りつきのものを使用していた。香りつきのものの中でも石鹸の香りやシトラス系の香りを使っている人がほとんどであった。このことから無香料でにおいを防ぐことより、清潔感のある香りや爽やかな香りを好んで制汗剤を選んでいるということが考えられる。

(4) 家庭用と持ち運びようがある

写真ではバラバラになっているが、制汗剤の写真を撮っていただくように依頼したところ、家用と持ち運び用らしいサイズの異なる制汗剤が見受けられた。また置いている場所に関しても依頼したところ、バックやポーチに常時入っていること・洗面台に置いたままの人が見受けられた。ここから、場所限定ではなく家外療法で制汗剤を使用していると考えられる。

以上の(1)(3)(4)を仮説としてa面で調査していく

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年長田里菜

3年川俣理沙

3年高橋有里沙

3年大堂愛花

観察調査結果

(1)スプレータイプ(19人)

[8×4]



[Ban]



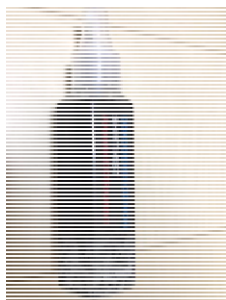
[Ag+]



[レセナ]



〔その他〕



(2) シートタイプ(16人)

〔Biore ʼ〕



〔Ban〕



〔GATSBY〕



〔その他〕



(3)液体タイプ(7人)
〔8×4〕



(4) ロールタイプ(6人)

[Ban]



[8×4]



[その他]



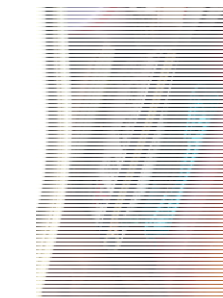
(5) 複数持ち(6人)



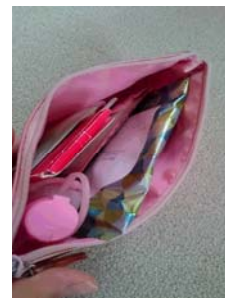
(6)置き場所
洗面所(7人)



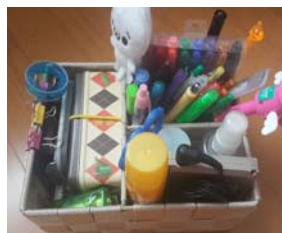
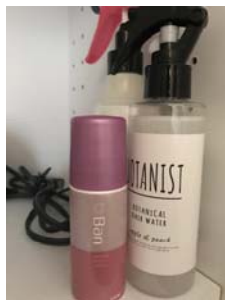
バックの中(6人)



ポーチ(4人)



部屋の棚(3人)



ポーチと化粧台(1人)

